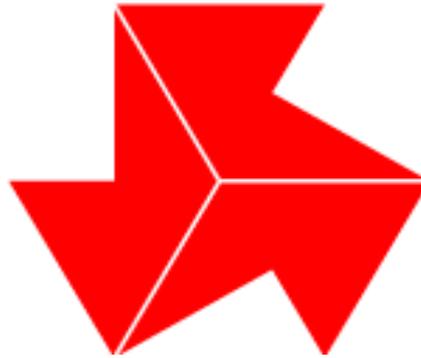


平成30年度  
南信高等学校総合体育大会  
定時制通信制大会



期 日	平成30年5月19日（土）
日 程	開会式 9：30 試合開始 10：00
会場及び種目	箕輪進修高等学校 バスケットボール・バドミントン・卓球 バレーボール・ソフトテニス
主催	南信高等学校体育連盟
主管	南信高等学校体育連盟定通専門部

## 大会役員

会 長 齊藤 則章 (伊那北)  
副 会 長 田中 昇 (東海大諏訪) 駒瀬 隆 (伊那弥生ヶ丘) 小金 典子 (松川)  
顧 問 南信高等学校体育連盟高等学校長  
委 員 長 原 正彦 (伊那北)  
副委員長 田中 隆 (伊那弥生ヶ丘) 金子 俊夫 (松川)

## 競技役員

会 場 長 北島 匡晃 (箕輪進修)  
競技委員長 名取 駿 (諏訪実業)  
副委員長 三澤 浩典 (箕輪進修)  
委 員 末松 英司 (赤穂) 代田 裕之 (飯田 OIDE 長姫)  
畦上 みずき (飯田 OIDE 長姫)  
会場委員 箕輪進修高等学校職員 諏訪実業高等学校職員  
赤穂高等学校職員 飯田 OIDE 長姫高等学校職員  
会 計 名取 駿 (諏訪実業)  
救 護 林 夕姫 (箕輪進修)

## バスケットボール (箕輪進修高等学校 第2体育館)

会場主任 名取 駿 (諏訪実業)  
会場委員 赤穂・飯田 OIDE 長姫高等学校職員  
審 判 員 南信高等学校体育連盟バスケットボール専門部  
補 助 員 諏訪実業高校バスケットボール部

## バドミントン (箕輪進修高等学校 第1体育館)

会場主任 三澤 浩典 (箕輪進修)  
会場委員 飯田 OIDE 長姫・つくば開成・諏訪実業・赤穂高等学校職員  
審 判 員 南信高等学校体育連盟バドミントン専門部  
補 助 員 箕輪進修高等学校職員・バドミントン部

## 卓 球 (箕輪進修高等学校 卓球場)

会場主任 畦上 みずき (飯田 OIDE 長姫)  
会場委員 箕輪進修・飯田 OIDE 高等学校職員  
審 判 員 箕輪進修高等学校職員・卓球部

## 平成30年度南信高等学校総合体育大会定時制通信制大会

1. 主 催 南信高等学校体育連盟
2. 主 管 南信高等学校体育連盟定通専門部
3. 日 時 平成30年5月19日(土) 開会式 9:30 競技開始 10:00
4. 会 場 箕輪進修高等学校
5. 種 目 バスケットボール バドミントン 卓球
6. 競技方法 各種目とも、試合方法はリーグ戦方式、又はトーナメント方式とする。

### バスケットボール

- 1) 競技規則は、現行日本バスケットボール協会競技規則による。但し競技時間はクォーター制で行う。  
10分—2分—10分—ハーフ10分—10分—2分—10分
- 2) ユニフォームは規定に定められたものとする。濃淡の2色を用意し、共に4~15番までの一連の番号を使用する。
- 3) ベンチは組み合わせ番号の若いチームがTO席に向かって右側とし、原則としてユニフォームは淡色を使用する。
- 4) 試合球は公認球とする。

### バドミントン

- 1) 競技規則は、現行日本バドミントン協会競技規則による。
- 2) 各校登録参加選手は8名以内とし、団体戦と兼ねることができる。
- 3) 個人戦はシングルのみ、15点(ラリーポイント制)3ゲームマッチとする。  
14点オールとなった場合はデユースとなり、2点連続したサイドが勝者となる。  
(最高21点) ※団体戦・個人戦準決勝以上は21点の3ゲームマッチで行う。
- 4) 団体戦は2~6名以内としD1・S1・S2で実施し、単複の重複は可。
- 5) 試合球は公認球(水鳥)とし、試合球を試合数だけ各校で持参する。
- 6) 選手は背にゼッケンをつけること。(白布に黒又は紺で学校名を入れ、サイズは縦15cm横30cmとする)

## 卓球

- 1) 競技規則は現行日本卓球協会ルール及び細則による。
- 2) 競技服装のシャツ・ショーツ・スカートはいかなるものを用いてもよいが、使用するボールと明らかに違う色とする。
- 4) 選手の背中にゼッケンをつける。(白布に黒字で上段に選手名、下段に学校名を記入する。サイズは縦20cm横25cmとする)
- 4) 使用球は白球40mmの公認球とする。
- 5) 団体戦、個人戦ともに、11点3ゲーム先取法とする。

<個人戦について>

- 1) 各校登録参加選手は8名以内とし、団体戦と兼ねることができる。

<団体戦について>

- 1) 団体戦の登録は3～6名とする。
- 2) 試合方法は1複4単(単・単・複・単・単)の5試合とし3点先取でおこなう。
- 3) 試合をおこなう前に各チームの監督または代表者でAB側かPQ側の選択をトスで決める。オーダーは表1に基づいてそれぞれ決める。シングルス1・2番出場者でダブルスを組むことはできない。
- 4) 1回戦または初戦においては、勝敗にかかわらず全試合をおこなう。

表1 団体におけるオーダーの組合せ [S] : シングルス [W] : ダブルス

人数	組方	AB方式					PQ方式				
		[S]	[S]	[W]	[S]	[S]	[S]	[S]	[W]	[S]	[S]
3人	[1]	A	B	AC	B	C	P	Q	QR	P	R
	[2]	A	B	AC	C	B	P	Q	QR	R	P
4人	[3]	A	B	AC	B	D	P	Q	QR	P	S
	[4]	A	B	AC	D	B	P	Q	QR	S	P
	[5]	A	B	AC	C	D	P	Q	QR	R	S
	[6]	A	B	AC	D	C	P	Q	QR	S	R
5人	[7]	A	B	AC	D	E	P	Q	QR	S	T
	[8]	A	B	AC	E	D	P	Q	QR	T	S
	[9]	A	B	CE	B	D	P	Q	RT	P	S
	[10]	A	B	CE	D	B	P	Q	RT	S	P
	[11]	A	B	CE	C	D	P	Q	RT	R	S
	[12]	A	B	CE	D	C	P	Q	RT	S	R
6人	[13]	A	B	CD	E	F	P	Q	RS	T	U

具体例(各チーム5人の場合)

AB方式をとったチーム・・・組方を(7)とした。

PQ方式をとったチーム・・・組方を(10)とした。

	[S]	[S]	[W]	[S]	[S]
ABチーム	A	B	AC	D	E
PQチーム	P	Q	RT	S	P

この場合、ABチームは、1番のシングルスと3番のダブルスに出場でき、

PQチームのPは、1番シングルスと5番シングルスに出場できる。

- \* 3人で組む場合には3人が2度出場できる。
- \* 4人で組む場合には4人のうち2人が2度出場できる。
- \* 5人で組み場合には5人のうち1人が2度出場できる。
- \* 6人で組む場合には6人が1度の出場しかできない。

南信高等学校総合体育大会 定時制通信制大会 参加状況

	バスケットボール		卓球				バドミントン				ソフトテニス				柔道		剣道		バレーボール	
	男	女	団体		個人		団体		個人		団体		個人		団体	個人		団体	個人	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女			
諏訪実業						1				2										
箕輪進修			○		7															
赤穂	○						○		6	1										
OIDE長姫	○				1	2			2	2										
つくば開成									1	2				2						○
団体選 チーム数	2		*1				*1													*1
個人戦 人数					8	3			11	5				*2						

その他 陸上4名

\*は県高校総体より参加

注意事項

- 1) 県大会予選を兼ねています。県大会出場者は必ず各会場で県大会の申込み(参加料1,000円添えて)手続きを行うこと(大会当日)。  
県大会は、団体競技及び団体戦は1位、個人戦は4位までが出場資格を得る。  
\*顧問の先生は印鑑をお忘れなく持参してください。
- 2) 規定ユニフォームを着用すること。
- 3) 上下履きの区別をつけるように事前にご指導ください。特に体育館に土砂を持ち込まない細心の注意を払ってください。
- 4) 現金・貴重品は、各校で保管・管理をしてください。
- 5) 使用場所の清掃・片付けは各校で行ってください。来たとき以上にきれいにして帰るように心がけてください。
- 6) スポーツ選手としてマナーとルールをきちんと守ってください。

# 大会参加にあたっての留意事項

南信高等学校体育連盟

## I. 服装など

1. 運動着は高校生らしく、その種目にふさわしいものを着用するとともに、常に保温するように心がける。
2. 大会の行き帰りの服装は、その学校の校則に沿ったものとする。
3. 指輪、ピアスなどの装飾品は、競技中に危険を及ぼす可能性があるため着用しない。
4. スポーツマンにふさわしい身なりをし、茶髪、パーマ、化粧などはしない。

## II. 参加態度、安全など

1. 常に高校生らしくフェア精神を重んじたプレーを心がける。
2. 自分たちの大会を支えてくださる競技役員、審判、顧問の先生方には感謝を込め挨拶をする。
3. 大会の行き帰りは、学校で認められた交通手段を利用し交通安全には十分配慮する。
4. 余裕をもって会場に行き、試合前のアップをしっかりと行う。  
その際、使用器具、施設の安全性に十分配慮しながら事故防止に努める。
5. 競技中はルールに従い普段の練習の成果を十分に発揮できるよう心がけ、粗暴なプレー、無謀なプレーはしない。

## III. 美化・清掃など

1. 会場での飲食はその会場の規定に沿って行う。
2. 上下履きの区別はしっかりと行う。
3. 噛み終わったガムは紙に包みゴミ箱にすてる。また、自分たちの出したゴミは持ちかえる。
4. 公衆道徳(歩きながらの飲食はしない)を守り高校生らしい態度で臨む。
5. 自分たちの大会です。会場をお借りできることに感謝し、準備、後片付けなどには積極的に参加する。

## IV. その他

1. 最近、会場での現金盗難が多発しています。貴重品は持ち歩かない、または、顧問に預ける。
2. 所持品には記名し、会場での管理は自分で行う。
3. 食事は試合の合間をみて適切にとる。また、夏場の弁当については保管場所などを配慮し、食中毒には十分気をつける。

### ※ 顧問の先生方へ

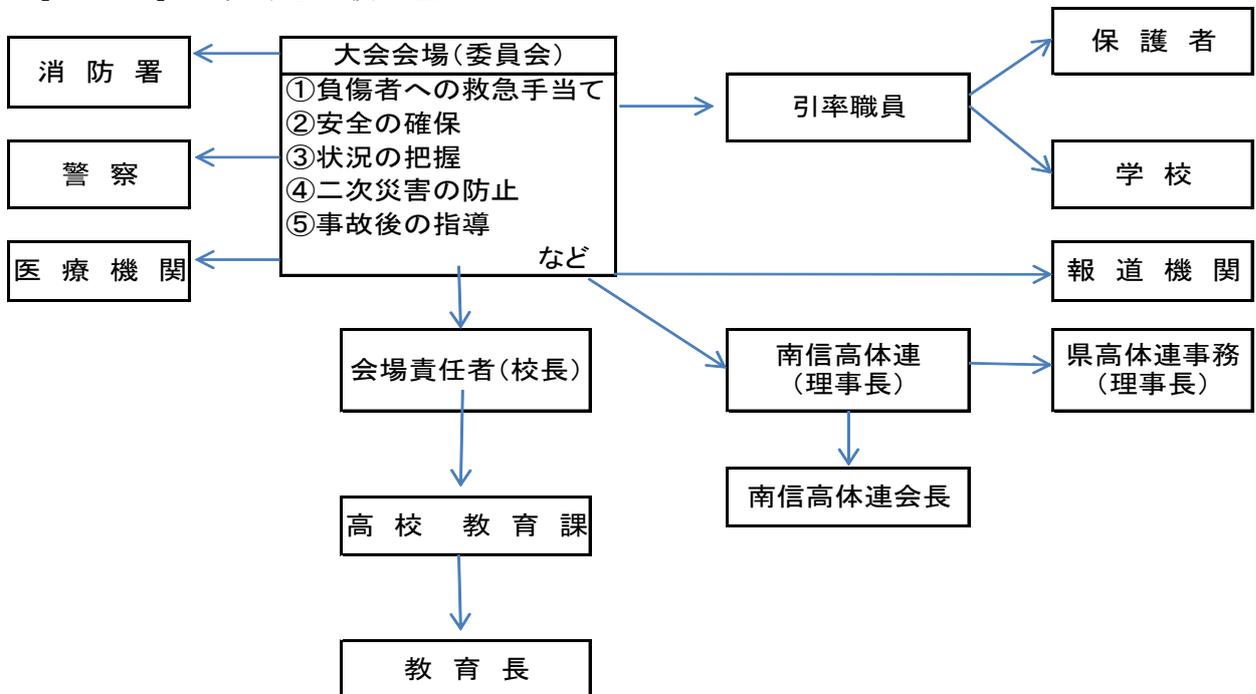
1. マナーや生活指導問題は上記の点を十分に配慮しながら、原則として当該校の校則により指導をお願いします。
2. スポーツは常に危険が伴います。事故発生の場合は速やかに対応マニュアルに従い、本人、保護者、学校長等への対応をお願いします。

## 緊急時の対応マニュアル

### 【 1 】 事故が発生した場合の対応

1. 応急手当及び安全の確保
  - ①救護担当者または学校関係競技役員（以下役員）、救護係は負傷の程度を確認し可能な応急手当を施す。
  - ②他の役員が救急車の出動を要請し、到着するまでの間に関係者から事故の状況を把握しておく。
  - ③救急車には役員及び引率者が同乗する。
  - ④現場に残った役員は生徒達の不安を取り除き、大会の中断や中止を検討するとともに、現場の保存を行う。
2. 危機管理体制の確立
  - ①専門委員長は緊急時のマニュアルに基づき、関係役員に対応を指示する。
  - ②記録者を定め、事故発生時の状況や発生直後の対応など、事故の経緯について簡潔かつ詳細に記録する。
  - ③情報の混乱を避けるため、関係機関との対応はすべて専門委員長があたり、窓口を一本化する。
3. 保護者への対応
  - ①引率者は事故のあった生徒の保護者へ速やかに連絡をとり、事故の状況や搬送先の病院などを知らせる。
  - ②専門委員長は事故があった生徒への見舞いや保護者への状況報告などを、迅速かつ誠意をもって行う。
4. 報告
  - ①専門委員長は直ちに南信高体連事務局（理事長）に連絡をとり、正確に事故の状況を伝えるとともに、その後の対応の指示、助言を受ける。
  - ②理事長は直ちに会長に報告し指示を受ける。
  - ③引率者は当該学校長に連絡をとり対応の指示を受ける。
5. その他
  - ①競技の再開にあたっては引率者、当該生徒やその保護者などと密接に連絡をとりながら、十分に安全を確認したうえで専門委員長の判断のもとに行う。
  - ②事故の原因を究明し再発防止策を講じる。
  - ③専門委員長は傷病規定に基づき見舞金の手続きを行う。

### 【 2 】 事故対応の模式図



### 【 3 】 事故防止の事前指導

1. 体調を万全に整えた上、準備運動を十分に行わせて臨ませること。
2. 安全に十分に配慮し会場準備するとともに、救護係を配置し迅速な対応が出来るよう計画する。
3. 専門委員会は予め休日緊急担当医を調べ緊急の際の対応に備える。